

東近江市税金展を開催

市民の皆さんに税の意義や役割を正しく理解してもらおうため、十一月十一日（金）から「税を知る週間」が始まります。今年は、「この社会あなたの税が生きている」をテーマに、「身近な税金展」が次のように行われます。

※初日には、BSN新潟放送の増山由美子アナウンサーが一日税務署長として活躍します。



(198)

たまに、「この社会あなたの税が生きている」をテーマに、「身近な税金展」が次のように行われます。

※初日には、BSN新潟放送の増山由美子アナウンサーが一日税務署長として活躍します。

は、午前十時～午後四時三十分（とき：十一月十一日（金））

ホール（一階）

□ 内容

■ 税の標語・ポスター展

■ 中学生の税に関する標語やポスターを展示します。

■ 無料税務相談

税理士が、無料で税の相談

▼ 税の標語・ポスター展

■ 中学生の税に関する標語やポスターを展示します。

■ 無料税務相談

税理士が、無料で税の相談

に応じます（時間は、午前十時から午後一時までです）。ペーパークラフト展たばこの空箱を利用したペーパークラフトの作品を展示紹介します。

▼炎の会の陶芸品の展示

炎の会会員の作品の展示を行います。

▼児童・生徒の絵画の展示

新津第一小学校の皆さんの絵の展示を行います。

▼清酒の試飲とビールの銘柄

当酒造組合新津支部の清酒の

新津第一小学校の皆さんの絵の展示を行います。

▼児童・生徒の絵画の展示

新津第一小学校の皆さんの絵の展示を行います。

▼炎の会の陶芸品の展示

炎の会会員の作品の展示を行います。

▼清酒の試飲とビールの銘柄

当酒造組合新津支部の清酒の

試飲と酒類業組合によるビルの銘柄当てを行います。なお、参加者には、粗品が用意されています。

青空緑化教室に

ご参加ください

青空緑化教室を次の日程で開きます。もうすぐ樹木の冬度シーズンです。ぜひ、お出かけください。

□（とき：十一月六日（日）の午後一時三十分～三時三十分）

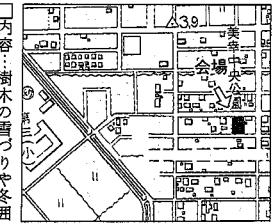
□（とき：十一月六日（日）の午後一時三十分～三時三十分）

□（とき：十一月六日（日）の午後一時三十分～三時三十分）

□（とき：十一月六日（日）の午後一時三十分～三時三十分）

□（とき：十一月六日（日）の午後一時三十分～三時三十分）

□（とき：十一月六日（日）の午後一時三十分～三時三十分）



改正されました

電気工事法、電気工事業法の二つの法律が改正されました。現在、電気工事士の免状

を持っていますが、電気工事業を行っている人は、この法律の改定に伴って必要な手続きや講習が必要となります。

□ 主な改正内容

新たに「第一種電気工事士」の資格が設けられました。従来の電気工事士は、自動的に第二種電気工事士となり、扱える電気工事の範囲は前と同様です。

「特殊電気工事資格者」が新設されました。昭和六十五年九月一日からは、この資格がないと自家用電気工作物のネオント工事などの特殊な電気工事ができなくなります。

このほかくわしいことは、県工業振興課（☎025-1-2851-5511内線2789）へお問い合わせください。

お質物、ご用命は市内です

動物も家族の一員です。

小島獣医科病院

☎24-2223 (秋葉2丁目)

駐車場完備



・ 時間

平日 AM9:00～12:00 PM1:30～6:30
土曜日 AM9:00～12:00 PM1:30～3:00
日・祭日 AM9:30～11:30(予約)

・ 案内

- ・ 犬・猫・小鳥など動物の診療
- ・ 野生・家禽の保護
- ・ 動物コンサルタント
- ・ グルーミング
- ・ ホテル
- ・ 健康フード(療養食)

当院

至五角

駅

秋葉公園

花

駅

秋葉公園

老人福祉センター

マンション

鮮やかな緑の島を核に、ヨバートブルーの遠浅の海、サンゴ礁のリーフが、また、のど渴きや飢餓といった美しい雲の中へ吸い込まれていった。少しして機体ごと機体は左へ旋回し、翼の下から再び視界が広がってきた。

機体は、少しずつ高度を下げ、窓からは青い空。そして、ぽつかり浮いた白い雲の中へ吸い込まれていった。少しして機体ごと機体は左へ旋回し、翼の下から再び視界が広がってきた。

日本人が亡くなり、未だ日本に帰れない今までいるのである。島の形が変わらんばかりの艦砲射撃毎日、ジャンクルの中を散開し、暑さもあり、かなりの激務であったし、ます。

サイパン島に思う

中村 風間 輝明

時中、日本の統治下にあり、戦いによって多くの人が亡くなり、未だ日本に帰れない今までいるのである。島の形が変化していくといわれている。

われわれ一行は、厚生省の援護局長を隊長に五十名くらいで、一ヶ月間の収骨作業を行った。

このバトンを中新田の荒木誠一さんにリレーし

たまに、「この島は戦場」と呼んでいましたが、この島は戦場でした。

日本人が亡くなり、未だ日本に帰れない今までいるのである。島の形が変化していくといわれている。

われわれ一行は、厚生省の援護局長を隊長に五十名くらいで、一ヶ月間の収骨作業を行った。

このバトンを中新田の荒木誠一さんにリレーし

たまに、「この島は戦場」と呼んでいましたが、この島は戦場でした。

日本人が亡くなり、未だ日本に帰れない今までいるのである。島の形が変化していくといわれている。

われわれ一行は、厚生省の援護局長を隊長に五十名くらいで、一ヶ月間の収骨作業を行った。

このバトンを中新田の荒木誠一さんにリレーし